

“無法・暴力の暗澹たる世界、この講座で学び活かせるのか！”

日時 2026年3月29日(日)

13:30~16:00

開場(13:00)

場所 館林市文化会館小ホール

館林市城町3-1

資料代 300円(学生無料)

講師 赤上 剛(田中正造研究家)



*正造が到達した思想

「人権、自治、憲法政治の実現、非暴力、環境・自然との共生、非戦・軍備全廃、無所有」

1. “私たちの胸を打つ正造の言葉”は闘争の中でつくられた。独創か関わった人ありや
(例)

- ① 「真の文明ハ山を荒さず川を荒さず村を破らず人を殺さざるべし
古来の文明を野蛮に回らす 今文明ハ虚偽虚飾なり私欲なり露骨的強盗なり」
(幸徳秋水、新井奥邃、熊沢蕃山)
- ② 「国民監督を怠れハ治者 盗を為す」(植木枝盛)
- ③ 「憲法第三条(天皇の)神聖ハ人民も神聖ナルが故ナリ」(『平民新聞』、渡辺政太郎、奥邃)
- ④ 「進歩ハ芋を洗ふ如しと。同様類似のふるきはなしを幾回も幾回もくり返すと、自然に真理に徹底するものなり。誠ニ芋を洗ふ如し」(二宮尊徳)
- ⑤ 臨終の日、見舞客に「お前方多勢来ているそうだが、嬉しくも何ともない、みんな正造(の病氣)に同情するだけで、正造の事業に同情してきている者は一人もない、おれは嬉しくも何ともない」(蒲生君平)

2. なぜ正造は「非戦・軍備全廃」にいたったのか *以下「意見交換」

3. なぜ正造は「無所有」にいたったのか

4. 正造思想の根幹はなにか

5. 正造の絶筆をどう読むか(死のほぼ1か月前。大正2年8月1日「日記」)

「○悪魔を退くる力らなきものの行為の半^{なかば}ハ其の身モ亦悪魔なればなり。已^すニ業^すニ其身悪魔の行為ありて悪魔を退けんハ難シ。茲^{こゝ}ニ於てぎんげ洗礼を要す。…○何とて我を」
*「マタイ伝福音書」：イエス大聲に叫びて「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」と言ひ給ふ。
わが神、わが神、なんぞ我を見棄て給ひしとの意なり。

6. その他、質問、討議したいこと